

介護老人保健施設 老健ホームいしかわ広報誌

きらめき



「誰かのために尽す」という文化・風土を大切にしよう

昔の日本では、親の介護は主に家意識と家族の無償の活動でなされていたが、戦後、家制度と介護は分離され、介護の形態はかなり変わってしまったかに見える。しかし根本的な心のことは、本当は変わっていないと思う。

人間の生活の基本姿勢は、高齢者でも、障害者でも「自立」であろう。だが厳密に考えると、人間は元々一人では自立できない生物であり、健康な者といえども助け合わなければ生きて行けない存在ではないだろうか。

人間は愛・尊敬・感謝の言葉を受けた時に、本当の最終的な生きがいを感じると考えられている（マズロー：最終段階の欲求＝自己実現）。

動物の世界では共助・共生の行動がかなり有効な成功を収めている。視点は変わるが、人間も自分が現在あるのは、自力ではなく取り巻く環境や他力のお蔭であることを思うとき、自分以外に感謝する気持と共助・共生の精神をもつのは当然であり、このことは普遍的・本能的なもの（遺伝子?）ではなからうかと感ずる。

幸せの要件として、健全でぶれない自分、愛する家族と信頼できる友達、自由時間の有効利用（物・心の最大の実りを得る）までは誰でも思うが、最後の実りを、感謝の上で周囲に還元して、誰かに尽す気持ちにならなければ幸せはやって来ないということも忘れないでおきたい。

2013年 3月
施設長 大家 他喜雄

老健ホーム 掲示板

老健ホームの楽しい生活を
ちょっとのぞいてみませんか？

お花見



満開の桜で
お花見です！
きれいな桜に
顔もほころび
ます。



梅とり



梅の収穫の季節が
やってきました。
いっぱいとれて
大満足です！

春

盆踊り



おそろいのはちまきと手作りうちわで
みんなで輪になって踊りました。

夏

ミニ運動会



ミニゲームで
楽しく運動会！
秋はイベント
盛りだくさんです！

足湯

公園散策



おしゃべりしながらあったか足湯でのんびり。

冬



サンタとトナカイが
プレゼントを持って
やって来ました!!



クリスマス

新年会



力作福笑い大集合！



昨年4月に事務長に就いて、そろそろ1年を迎えようとしています。覚える事も多く、未だに新鮮な驚き、感動、発見等が錯綜している毎日です。

私の母親は数年前からいわゆる「寝たきり」状態で病院に入院しています。その前には特養に入所、さらに以前はデイサービスを受けていました。体調の急変に備えて携帯電話を手放せない生活が10余年続いています。そうした経験が今の仕事の理解を深める材料にもなっています。

長寿大国日本と言われて久しいわけですが、まだまだ高齢化が進行します。私自身も耳順を迎え、体力気力ともに衰えを実感しています。事務長という職責は、ご利用者様と直接に接することは少ないわけですが、明るい笑顔に出会うと私もホッとして元気をいただき、憂鬱そうにしているのを見るとこちらも不安が広がります。

老健ホームいしかわは建築後20年を経過し老朽化も目立ってきました。今年度に取り組んだ大規模修繕は、冷温水機及びボイラーの更新工事とナースコール更新工事です。これで寒さ、暑さに心配することも無くなり、また、夜勤時の呼び出し等にも速やかな対応が可能となりました。この他中小規模の修繕は数え切れず、利用者様へのご不便解消に奔走する毎日です。また、本年7月に「全国介護老人保健施設大会」が金沢で開催され全国から5千人の関係者が来訪されます。私もその裏方の一員として準備作業に追われる日々でもあります。

当施設では、「笑顔と暮らす、生きがいのある日常生活」をテーマにしています。それが画餅ではなく、本当に笑顔があふれる環境を生み出していくのが私たち施設職員の義務です。昨年の施設内研修講話でも触れましたが、仕事の成果をあげるのには、一人の天才的なリーダーの存在や少数の頑張り屋の努力によるものではなく、大勢の心の絆とチームワークの力だと思っています。そのために日常のコミュニケーションは欠かせません。世の中を楽しく感じるのも、不幸を感じるのも、すべて周りとの人間関係がうまく行っているか否かではないでしょうか。

大家施設長が職員への年頭訓示で「誠実・勤勉・感謝の精神」と「中庸」を大切にと言われましたが、肝に銘じて微力ながら業務に邁進したいと考えています。

終りに、「幸せのはひふへほ」の言葉を参考までに紹介して筆を置きます。

「半分でいい、人並みでいい、普通でいい、平凡でいい、程々でいい」

給食委員会コーナー

お料理教室のご紹介

テーマ **おいしくお餅を食べよう!**

1月の料理教室は「おいしくお餅を食べよう!」をテーマに、ごまとあんこを使用して、わいわい楽しく作りました。お餅は蒸し器でふっくら蒸しておきます。その間に、炒りごまを搗鉢で搗ります。昔取った杵柄で、みなさん搗るのはお見事です。「昔はもっと大きな搗鉢で搗ったもんやわ。」と話も盛り上がり、あっという間に香ばしい香りの搗りごまの出来上がりです。後はお砂糖とお醤油で味を調べて、お餅の上にとっぴりのごまだれとあんこをのせて完成です。出来上りを頂いた感想は、「おいしいね。楽しかった。」と好評でした。



◆ あんこ、みなさんと搗って作った搗りごまだれ。おいしいと好評! ◆



〈老健ホームいしかわ〉

施設理念
・利用者本意の 地域に優しい
社会から支持される 福祉活動を
献身的な精神で 提供する

基本方針

- 利用者の意志及び人格の尊重
- 利用者の有する能力に応じ、自立支援を目指すサービスの提供
- 地域及び家庭との結びつきを重視した運営
- 職員・組織・施設として研修により人材の育成を図る

ボランティアをして頂いた方々、
寄付を頂いた方々、
本当にありがとうございました。

編集後記

月日のたつのは本当に早いもので、もう平成25年です。そして当施設老健ホームいしかわも平成25年12月で開設20周年を迎えます。当時0才の赤ちゃんも成人に、40才の人も還暦になるといふことでやはり月日の経過を感じずにはいられません。今後も超高齢化社会は進んで行きます。少しでも高齢者の方々によるこんで頂けるよう、又反面今後を担う、若い方が働きやすい高齢者施設になるよう、日々がんばっていきたく思います。皆様のご指導のほどよろしく申し上げます。